みんなの文芸

俳句・短歌を募集
4日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して みらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 榎本順江 選　投稿数16句

二倍速過ぎゆく休み遠花火　皆野中　太幡　琉美花

(評)夏休みの前半に宿題は済ませ、後半はのんびりと、と思ってもなかなかそうは行きません。休みも終盤になり、課題もまだ残っているのに時間は容赦ありません。二倍速に込められた作者の気持ちが伝わります。遠くから花火の声援です。二句目、これから先の安住の地を何処に、決断し難い事でしょうが、作者は秩父に決めました。新しい人との出会いや豊かな自然との触れ合いも楽しいものです。もう秋、俳句がたくさん出来そうです。三句目、秋の味覚の栗。そろそろ拾えるかと栗畑へ行って見ました。有り余る程は拾えませんが、今日の献立に丁度良い量は拾えた様です。今晩は初物の栗ご飯でしょうね。

終の住処秩父に求め秋来たる　下日野沢　小原　和夫
初物の栗足るだけを拾いけり　三沢　新井　民子
渓を翔つ鷺の白さよ秋の雨　三沢　眞下　杏子
居待月草叢にあるオーケストラ　皆野　萩原　初恵
懐メロの心に染みる処暑の夜　皆野　村田ハツ代
送り火を灯して帰路の肩軽し　三沢　新井　叶子
盆の客愛し曾孫のグータッチ　下日野沢　浅見　豊子
新涼の清しき朝の深呼吸　皆野　根岸　詩子
つやつやの黒髪の少女夏木立　皆野　櫻井　早苗
明日の米研いで見上げる月高し　下田野　新井　節子

短　歌（投稿順）

有能な人達ばかり先に逝く無能な俺はいつまでも生く　皆野　石原　達也
蓮の華鎮座しますカマキリは観音菩薩か亡き祖母の化か　皆野　大澤　貴夫
思い出すノストラダムスの大予言ハルマゲドンはコロナ禍なのか　上日野沢　四方田利男
五年待ちし選手ら感謝の涙してメダルを胸にす東京五輪　三沢　眞下　杏子
古希過ぎしわが手が語る歳月は今思わるる邯鄲の夢　皆野　萩原　初恵
長雨と副反応で秋野菜蒔けぬ畑に秋茜舞ふ　皆野　打木　昭廣
十二個のトランペットは蓄付け希望の如く日ごと膨らむ　三沢　新井　叶子
パラリンピック選手の闘志に魅了され生きる気力と精気を貰ふ　三沢　新井　民子
夏休み飛花落葉のコロナ禍にＤＮＡのレポートを書く　皆野中　太幡琉美花
あの嶺もこの谷筋もわが猟場鼓動高鳴るいと懐かしき　皆野　戸塚喜久雄
新コロナ緊急事態延長す多難続出自粛を守る　皆野　根岸　詩子
弟の新盆見舞遣る瀬なし良き想い出の多く残さる　下日野沢　浅見　豊子
盆棚になき義母植えたほおづきを供え拝みし十一年経る　国神　藤原マキ子
この夏も帰省も無くて寂しくて二階へ上がりアルバムを見る　下田野　新井　節子
夏草に追われ追われる我が畑長雨日照で種も芽が出ず　皆野　村田ハツ代
終戦日「平和の俳句」入選す琉美花さんの記事朝刊に見つ　皆野　引間　万亀

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

11月号の締め切りは、10月11日（月）です。

問合せ みらい創造課　政策推進担当
☎26-7334

今月の題字

皆野小5年
櫻井　花穏（かのん）さん

児童の見守り放送

三沢小6年
小河　楽翔（がくと）さん